

平成 27 年 1 月 27 日

各 位

東 京 都 千 代 田 区 麴 町 三 丁 目 2 番 4 号
会 社 名 株式会社スリー・ディー・マトリックス
代 表 者 名 代表取締役社長 高村 健太郎
(コード番号：7777)
問 合 せ 先 取 締 役 新 井 友 行
電 話 番 号 03 (3511)3440

当社グループ子会社とマサチューセッツ工科大学 (MIT) との
新規グローバルライセンス契約締結のお知らせ

当社グループは、自己組織化ペプチド技術による医療製品の開発をグローバルに展開すべく事業を進めております。この度、シンガポール連結子会社：3-D Matrix Asia Pte. Ltd.は、マサチューセッツ工科大学（以下「MIT」）との間で、自己組織化ペプチドの修飾方法および界面活性剤様ペプチド技術に関するグローバルライセンス契約を新たに締結いたしましたのでお知らせいたします。

自己組織化ペプチドの修飾方法に関しては、従来の自己組織化ペプチドに生体機能を活性化する短いモチーフ配列を付加するもので、主に再生医療領域において活用を進めております。この度の新規ライセンスによって骨組織、皮膚組織、心筋組織、神経組織など広範囲の分野でより細胞の生育に優れたペプチドに関する権利を有することになります。

また、従来よりドラッグ・デリバリー・システム領域（以下「DDS領域」）における薬剤や治療物質のキャリア担体としての活用を進めておりますが、この度の界面活性剤様ペプチド技術に関する新規ライセンスにより新配列のペプチド権利を有することになります。これにより、Exploit Technologies Pte Ltd（シンガポール科学技術研究庁：A*STAR のライセンス機関）との間で平成26年5月に締結した超短鎖自己組織化ペプチド技術と合わせて、より広範囲のラインナップの中からDDSの新たな徐放担体の研究開発が可能となりました。

上記の新規ライセンス技術により当社グループの特許ポートフォリオは一層の拡充がなされ、ペプチドの選択幅も拡大することから、今後も有効な医療製品の開発及び企業価値の拡大を目指してまいります。

なお、現段階においては、本件による本年度の業績予想への影響はございません。

以 上